

学長選考・監察会議議事録
(令和4年度 第4回)

令和4年9月21日(水)
15時30分から16時30分まで
法人本部3階「第一会議室」

【出席者】

経営協議会選出委員

相澤 益男 里村 正治 西海 和久
(Zoom) 伊藤真知子 長谷川真理子

教育研究評議会選出委員

並河 英紀 上野 義之 佐藤 慎哉
(Zoom) 是川 晴彦 中西 正樹 黒田 充紀 村山 秀樹

【欠席者】 小林 裕明 鈴木 道子

【陪席者】 羽鳥副学長

議事に先立ち、羽鳥副学長から、本日の会議が規程第5条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

I 前回議事録の確認について

相澤議長から、資料1に基づき、前回議事録の確認が行われ、議事録が確定された。

II 学長の業務執行状況に係る中間評価について

相澤議長から、今年度は学長任期3年目に当たることから、毎年行っている「学長の業務執行状況の確認に係る意見交換」とは別に、「学長の業務執行状況に係る中間評価」を実施する年になっているため、中間評価の進め方等について確認するものである旨説明があり、次いで、羽鳥副学長から、資料2に基づき説明があり、相澤議長から諮られた結果、以下のことが確認された。

- ・「中間評価の実施計画」の大筋は了承されたが、評価項目については、委員の意見を集約し確定することとする。
- ・評価項目については、「大学運営・経営」「教育」「研究」「社会連携・国際連携」の4項目が提示されたが、会議終了後改めて委員から意見を求めることとする。
- ・議長は、「中間評価(素案)」及び各委員の評価結果を全委員に回示し、委員から意見を求めることとする。

質疑応答は、以下のとおり。

- ・学長は、「理事長」と「学長」職を兼務している本学において、そのうちどちらの業務執

行状況の評価なのかを明確にしておきたい。（里村委員）

- ・ どちらも含む全体の業務執行状況の評価である。（相澤議長）
- ・ 前回の小項目は採用しないことの是非を議論する必要があるのではないか。（里村委員）
- ・ 評価メジャーについては、相澤議長から学長の意見を確認いただきたい。（西海委員）
- ・ 中間評価の目的を明確にしていきたい。（里村委員）